

2026 年 6 月 26 日

課題名：肩腱板修復術後における患者理解とセルフケア遵守の関連
—評価構造の影響を考慮した探索的解析—

◆研究の目的と概要◆

肩腱板修復術後の患者を対象とし、Teach-Back 法※により評価された理解度（術後早期：T0、術後 4～6 週：T1）と、装具離脱後 1～2 週におけるセルフケア遵守（T2）との関連を検討します。本研究では理解度の「評価時点」に着目し、どの時点での理解がセルフケア行動により強く関連するかを探索的に検討していきます。

◆対象となる患者さん◆

2026 年 1 月から 2026 年 6 月までの間に、当院にて肩腱板修復術を施行し、術後リハビリテーションを実施した患者さん。

◆研究に使用される情報・試料◆

本研究では以下の診療情報を使用します。

年齢、性別 断裂サイズ Teach-Back※による理解度評価 セルフケア遵守スコア 痛み（NRS）不安（VAS） 関節可動域（ROM）

◆試料・情報の研究利用開始日◆

2026 年 11 月 1 日以降

◆研究方法◆

本研究は、過去の診療録（カルテ）から得られた情報を利用した後ろ向き観察研究です。

※患者や学習者が説明内容を自分の言葉で説明し返すことで、理解度を確認し理解を深めるコミュニケーション手法です。

* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承ください。以下のお問い合わせ先までメールでご連絡ください。ただし、解析中または、既に学会等で発表されたデータについては、削除できないことがありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

リハビリテーションセンター 研究責任者 船間聡

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって当該既存試料を用いなければ研究の実施が困難であるとの理由が認められ、倫理的観点及び科学的観点から実施についての承認、また当院院長の許可が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明